



今年も「補習授業校同窓会」開催！

ここ数年、ニューヨーク総領事館の前任の桜井大使の時代から標記の会が大使公邸を会場に、例年この時期に開催されています。補習授業校の関係者を応援しようとの大使のお計らいだと伺っております。

今年も12月16日（木）18：30～「補習授業校同窓会」が大使公邸を会場に開催されます。昨年までは、「補習授業校卒業生の会」となっていますが、これまでもそうでしたが、必ずしも卒業していなくても短期間でも補習授業校に在籍経験のある方であれば参加できるようになっています。なお、今回声掛けされているのは、ニューヨーク、ニュージャージー、プリンストン補習授業校関係者ですが、米国の他の補習授業校関係者も含めてご招待いただいております。補習授業校の在籍経験があり、その後米国に滞在している方々は、日本と米国の架け橋となる貴重な存在であり、そうした方々に更に活躍していただくためにも、お互いのネットワークを広げるきっかけにして欲しいとの願いからだと伺っております。お近くに該当する関係者の方がいましたら、このことをお知らせいただきたいと思います。詳細については、事務局までお問い合わせください。

なお、本校は来年度開校50周年を迎えます。そうしたこともあって、これから元補習校生とコンタクトを取りたいと考えております。この機会に幅広くお集まりいただけるとありがたいです。開校当時中学生であれば、すでに60代になられていると思います。アメリカ国内にそのまま残られて活躍していたり、駐在員として舞い戻っている方もいるやに聞いております。50周年のこの機会に多くの先輩達の声を現役の補習校生達に届けたいと考えています。今後ともご協力をお願いいたします。

保護者からの励ましの言葉

（授業参観・懇談会を終えて）

○補習校は、学習だけでなく、チームワークや人間関係、友情、文化などなど、いろいろなことを学ぶ場所だと思います。現在学校側がとても熱心に暖かい雰囲気でのびのびと学習させて頂いていますので、とても満足しています。今後ともこの素晴らしい環境を続けて頂けることを願っています。どうぞよろしくお願い致します。（初等部4年保護者より）

○日本語や日本文化を学ぶのに、補習校の存在に心から感謝しています。今後ともよろしくお願い致します。（年長保護者より）

○アメリカに長期滞在となると、日本語に親しむ機会が減っていきます。補習校に通うことで、意識して日本語を保ち伸ばすきっかけをいただくことができます。お友達との交流や先生との関わり合いは大きな財産になります。今までどうもありがとうございました。（退学する初等部5年生の保護者より）

WTA校初等部研修会

20日2・3校時に初等部4、5年で研究授業があり、午後それぞれの学年に分かれて研究協議が行われました。その他の学年では情報交換会が行われました。授業を見たり、見てもらうことは授業改善のきっかけになります。研究授業の間、紙芝居をしていただいたり保護者の皆様のご協力をいただきました。ありがとうございました。



WTA校5年2組の研究授業の様子